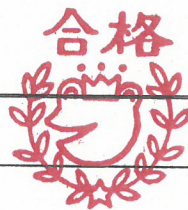


# 『ふるさと創造計画』企画書



3年 6組	3番 (氏名) 猪石寿穂
講座名 B	講座テーマ 伊予市の環境問題

《テーマ》

☆ 輝し伊予市の未来へ ☆

《ふるさと伊予市の現状の問題点》

最近、よく伊予市内でゴミを見かけます。ゴミがあっても捨てる人がいけません。正直私も、見て見ぬふりをしたことがあります。ポイ捨てをする人の原因の一つとして考えられるのは、近所にゴミ箱がないことだと思います。

そして、伊予市という町をきれいにしてもらう意識があまり見られないことも問題点の一つだと考えます。

(収集した資料は2枚目に添付)

《企画の目的》

平日、休日関係なく人が満ちあふれ、ゴミが一つも落ちていない町にテーマに沿ってつくりあげたいと思っています。

そして、みなさんがまだ知らない「ゴミ問題」の現状を知ってもらいたいと思っています。

《主なポイント》

- ① ゴミ箱・エコキャップ入れの設置場所の許可をとる
- ② ゴミ箱・エコキャップ入れをつくる
- ③ どこに設置しているのかが分かるようにマップをつくる
- ④ 中学生がゴミを減らすという活動をしていることがわかるチラシをつくる
- ⑤ ②と③を設置し、④を配布

《収集した情報》

○ - ホイ捨ての原因 -

- 自分がしている行為を迷惑行為だと気づいていない
- タバコ → 不審火・山火事の原因
- レジ袋やビニール製品 → フラゲなどを食料と勘違いして飲み込み、命を落とす可能性があります
- 釣り糸 → 鳥が飲み込む危険性
- 日本人のマナーの低下
- 国や市町村での取り組み姿勢があまりない
- 名古屋の取り組み  
→ 家庭ゴミは16種類に分別を出す

「2年間でゴミを20万トンを減らす」という目標達成

2010年には2000年からゴミを約20%削減し、全体で62万トンを(750g/人・日)とし、

埋め立ては15万トンから2万トンに激減させ、埋め立てゼロの布石とあるというものの

最上位(1位)は、砥部町の60.1%です。2位は、西予市の26.5%です。3位は、松前町の26.3%です。

最下位(20位)は、鬼北町の8.5%です。

☆ 他にもさまざまな都道府県でも取り組みが行われています。

愛媛県のごみのリサイクル率ランキング

順位	自治体名	ごみのリサイクル率		ごみ総排出量 2013年(A)	ごみ計画収集人口 2013年(B)
		2013年	2013年		
1	砥部町	60.1%		6,690t	21,997人
2	西予市	26.5%		10,988t	41,888人
3	松前町	26.3%		10,999t	31,155人
4	久万高原町	23.6%		2,654t	9,632人
5	愛南町	20.7%		8,027t	24,125人
6	八幡浜市	20.3%		14,486t	37,467人
7	松山市	19.7%		154,300t	517,743人
8	宇和島市	18.9%		29,173t	83,280人
9	内子町	18.5%		4,452t	18,103人
10	今治市	18.2%		60,421t	168,183人
11	新居浜市	17.9%		49,473t	124,344人
12	東温市	17.5%		7,460t	34,198人
12	伊予市	17.5%		11,894t	38,849人
14	上島町	15.9%		2,916t	7,497人
15	伊方町	14.6%		3,177t	10,802人
16	四国中央市	14.5%		34,518t	91,868人
17	松野町	12.4%		1,224t	4,345人
18	西条市	10.6%		46,862t	113,866人
19	大洲市	8.9%		15,255t	47,025人
20	鬼北町	8.5%		3,234t	11,430人

## 《具体的な企画内容》

①

伊予市はホイ捨てが多いのが現状です。それによって海の生き物に影響し、伊予市の活性化にも悪影響をもたらしている。

私は友達や家族にホイ捨てをする人はなぜしてはいけないことを知っていてくれると思うのかを聞いてみました。するとこんな意見がありました。

- ・「自分がしている行為を迷惑行為だとは気づいていない」
  - ・「ゴミ箱がある場所にいちいち行くのがめんどうさ」
  - ・「日本人のモラルの低下」
  - ・「国や市町村の取り組む姿勢があまり見られない」
- という意見が多かったです。

ですので、いくつかゴミ箱を設置してもらうことで近くにゴミ箱があるため拾う人が増えるのではなかと思う。私たちが港南中学校ではエコキャップ運動を行っています。専用ボックスに持ってきた人が入れるようになっています。伊予市内のゴミを減らすと共にエコキャップボックスを設置することで、ワラジを増やすこともでき、ボランティア活動にも貢献することが出来ます。それをどこに設置しているのかをマップにするということ、このような活動をしていることをチラシにし住民に呼びかける、というアイデアはどうでしょうか。



- ・ゴミ箱、エコキャップボックス、設置場所のマップの設置
- ・活動の内容をチラシにし、住民に配る

《具体的な企画内容》

ゴミを減らすと同時に伊予市の環境保全・活性化のために伊予市民全員が楽しめるような取り組みをすすめるのはどうでしょうか。

他の市町村と比べてほしい。

池田町(福井県)

- 池田環境向上基本計画を「かえろプロジェクト」と名づけ活動し
- 「かえろ通信」という環境広報誌を発行

↓ 目的

池田町の環境に関する情報を町民に向けて発信

- 環境を大切に考え行動をするポイントがもらえる「エコポイント関連事業」も行っている

↓↓

町のあり方や自分たちの暮らし方、生き方のものを広く考え考えつなげていく!!

この他にも、岡山県津山市では「森の学校」、「水の学校」などの環境学習が実施されています。このように伊予市も何かプロジェクトをつくり活性化につなげていくのはどうかと思いました。



ワークショップ方式の委員会の様子



川でのフィールドワーク

《実施にあたっての問題点》

① ゴミとエコキャップの収集は誰がするのか。

② 予算は大丈夫なのか。

③ 設置場所はあるのか

↳ 人が道を歩く際、迷惑にならないところ



～考え中の解決方法～

① 中学生や地域の人に呼びかけ、ボランティアを募集

② 範囲以内におさめる

③ 住民にアンケートをとる(参考にする)

《ふるさと創造計画 企画書を作成を通して考えたこと・思ったこと》

自分の住んでいる町をきれいにしようという意識をもつことはとても大切だと思います。この私の計画で何かが変わってほしいです。そして、伊予市民のきれいにしようとする意識が高まってほしいです。

他の県との取り組み方を比べると伊予市はまだまだ取り組みが足りないと思ったし、伊予市はよくなると感じました。

また見えない伊予市の現状を発見することができました。この発見を発見のまま終わらせず、これを発信していきたいと思います。

さまざまな県や地域には伊予市にはない手本となるものがたくさんあるので、それを見直しもっと伊予市を活性化させていきたいです。

「また見ぬ世界へ！ 輝く未来へ！」日本一の美しさを誇る伊予市に力をつけてほしいです。